

まもろう こどもたちの えがおを

武器ではなく 花を 武器ではなく ペンを



戦後76年

むかしむかしの話だと思う？

戦争を知らない私たち・・・知らないでいいのかな？

戦争でたくさんの罪のない人たちが

いっぱい、いっぱい 亡くなったんだよ。

あかちゃん、おにいちゃん、おねえちゃん、おかあさん、おとうさん、おじいちゃん、
おばあちゃん・・・

みんな生きたかったよね

いっぱいやりたいことあったよね。いっぱい遊んで、いっぱい食べて、好きな本を読んだり、ス
ポーツをしたり、歌を歌ったり、家族と楽しいこといっぱいしたかったよね。

戦争はそんな普通のことをうばってしまうんだよ。

銃で平和は守れないんだよ。

子どもたちは銃をもって戦いはしたくない。私たちもさせたくない。

子どもたちは生きる権利があるのだから。

戦争をする国に大人はしてはいけないんだよ。

大人には子どもたちの未来を守る責任があるのだから。

76年前、広島、長崎に原子爆弾が落とされたことを知ってる？

たった1発の原子爆弾で10万余人の尊い命が奪われたのを知ってる？

非拡散条約って知ってる？

憲法9条って知ってる？

私たちを守る大切な憲法9条が今、変えられようとしている事知ってる？

耳を傾けよう・・・そして考えよう・・・今、大切なものは何なのか・・・

2021年7月2日 杉並ゆりかご保育園 「第35回平和のための納涼のつどい」
新型コロナの流行により集う事が出来ないため紙面と配信で行います。平和を考える1日になりますように。

豆知識



知ってみよう

平和を願う道

杉並は平和を願うお母さんたちで溢れていた

☆杉並区は「原子爆禁止署名」の発祥の地

第五福竜丸って知ってますか？

現在東京夢の島に展示されている「第五福竜丸」

1954年3月、ビキニ環礁でアメリカの水爆実験が行われ、第五福竜丸も被爆しました。

23名の乗組員が直接被爆しました。（近くにいた856の漁船が被ばく…国の発表）

水爆実験に反対し5月に「水爆禁止署名運動杉並協議会」が結成されヒューマンイズムの精神につらぬかれた組織的な水爆禁止署名運動が杉並区から始まりました。

この運動は各地に広がり、8月には「原水爆禁止署名運動全国協議会」が結成され、原水爆禁止署名運動として全国へ波及しました。

杉並郷土館には杉並の水爆禁止署名運動に関する常設展示があり、イタリアの婦人たちから贈られた「美しい旗」などが展示されています。

1945年の広島、長崎の原爆投下が生々しく記憶に残っていた時代、再び核の恐ろしさを実感する大事件でした。

この第五福竜丸を東京都は原水爆による惨事が再び起こらないようにという願いをこめて

1976年 夢の島に展示館を建設しました。



（ビキニ環礁水爆実験）

☆杉並アピールってなあに？

「全国民の署名運動で水爆禁止を全世界へ訴えましょう」

のちに「杉並アピール」と呼ばれる宣言が出され、この署名は特定の党派の運動ではなく、あらゆる立場の人々を結ぶ全国民の運動として根本方針が出されました。

署名の表紙には「水爆禁止のために全国民が署名しましょう」

「世界各国の政府と国民に訴え

人類の生命と幸福を守りましょう」の3つのスローガンが掲げられていました。

1954年5月13日から始まった署名運動は6月20日には259,508名に、6月24日には266,124名に達する数字が記録されています。当時の杉並区の人口は約39万人。その7割に近い署名が集まり地域からの平和運動に杉並区の住民が一丸となって散り組んだ結果でした。

☆「水爆禁止署名運動」から「原水爆禁止署名運動へ」

ビキニ水爆実験が署名運動の発端であったことから、みんなにわかりやすい方が良いとの事で「水爆禁止運動」とした経緯がありましたが、全ての原水爆・核兵器から人類の生命と幸福を守

ろうとの思いが人々の心を動かし、国内だけでなく、世界に広がる反核・平和運動の署名運動となって行きました。

この運動の最中の9月23日 第五福竜丸の無線長、久保山愛吉氏が急性放射線症で死去。その死は「三たび 許すまじ 原爆を！」の国民感情の奔流を作り全国協議会は「原水爆禁止日本協議会（原水協）」に発展し、毎年8月に世界大会が開かれるようになりました。

1954年8月6日 第1回原水爆禁止世界大会 於 広島

署名の総数は翌1955年8月6日、広島で開かれた「原水爆禁止世界大会」の初日に、8月3日までの集約3158万3123筆と発表されています。

☆オーロラの碑

杉並の原水爆禁止署名運動の拠点となった旧杉並区立公民館は現在荻窪体育館が建っています。その角地に「オーロラの碑」が建てられています。



第1回原水爆禁止世界大会



荻窪体育館にあるオーロラの碑



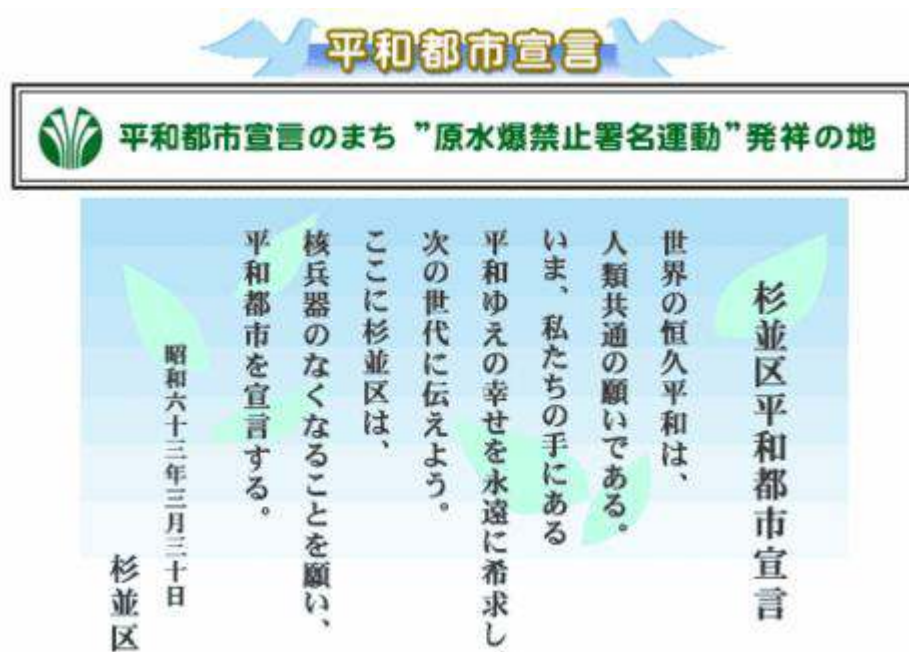
杉並区郷土資料館 展示



杉並区始まった水爆禁止署名

1988年（昭和63年）

杉並区平和都市宣言



原水禁運動「始まりの絵」 発祥の地・杉並で展示 娘が両親の志継ぐ



丸木位里、丸木俊 原爆の図第10部〈署名〉＝丸木美術館蔵

1954年に起きた第五福竜丸事件を機に、「魚屋さん」から始まった原水爆禁止運動発祥の地・東京都杉並区で3月、原水爆禁止署名を描いた絵が初めて展示される。絵は、画家の丸木位里（いり）・俊（とし）夫妻が共同制作した連作「原爆の図」の一つ〈署名〉。企画した区民の一人で署名を始めた鮮魚店夫妻の娘、竹内ひで子さん（76）は「一人一人が声を上げる連帯の力が社会を大きく動かすことを知ってもらいたい」と訴える。

54年3月、米国の水爆実験でマグロ漁船・第五福竜丸の船員23人が被ばくし、マグロの汚染とともに連日ニュースで伝えられた。魚が買われなくなり、杉並区で鮮魚店「魚健」を営む菅原健一さんは同業者たちに「米国の水爆実験をやめさせて遠洋漁場を守ろう」と署名運動を提案。店主らが店先で署名を呼びかけ、翌4月には築地市場で大会を開き、政府や米大使館に署名を手渡した。

原水爆禁止 2021年 世界大会

被爆者とともに
核兵器のない平和で公正な世界を
— 人類と地球の未来のために



平和行進ってなに？

1958年6月、被爆地広島のパネル公園から東京に向けた行進として始まりました。

6月20日、反戦・反核の活動に熱心な33才の仏教徒・西本敦（あつし）さんが、広島原爆原爆記念碑の前から8月、東京で開かれる第4回原水爆禁止世界大会へ向けて、たった1人で行進をスタートさせました。「歩くという、人間の最も初歩的な行動によって、人類的課題である原水爆禁止を訴えたい」その思いが国民の平和行進への共感を呼び、日に日に行進への参加者が増え、8月、東京に到着した時には、行進は1万人を超え、広島から東京への更新参加者は100万人を超えたといえます。

「歩く」という誰でもできる行動で原水爆禁止の願いを示す平和行進は、沿道の市民の共感をひろげそれ以来、雨の日も風の日も、夏の暑さの中も休まず続けられるこの行動は、世界にも類をみません。



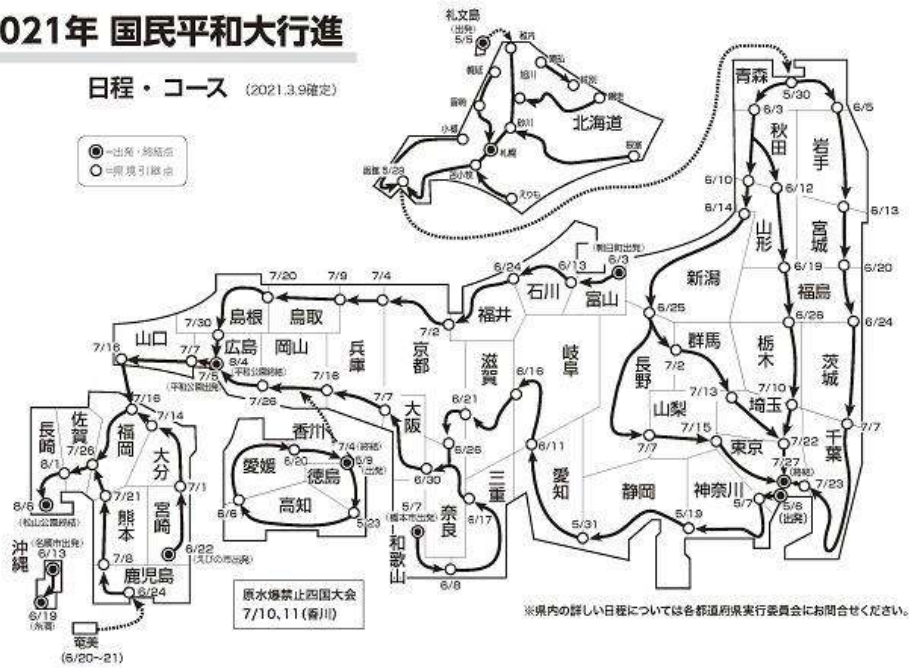
（写真）核兵器のない世界を求めて、車を連ねてスタートする2021年原水爆禁止国民平和行進＝6日、東京都江東区

2021国民平和行進スタート

核兵器禁止条約が発効して初めての2021年原水爆禁止国民平和行進（東京－広島コース）が5月6日スタートしました。日本政府に禁止条約参加を求め、8月6日、9日の原水爆禁止世界大会に向けて、全国を歩き世論を広げます。東京からの出発はコロナ緊急事態宣言を受けて「歩く」行進を中止し、宣伝カーと車を連ねての行進を実施しました。

2021年 国民平和大行進

日程・コース (2021.3.9確定)



平和メッセージの発信

2019 年 10 月 04 日

ベアトリス・フィン (ICAN 事務局長)



核兵器を拒否するために立ち上がり、政府に核兵器禁止条約を採択させたのは、私たち普通の人々です。情報を得て、被爆者の話を聞き、選挙で選ばれた政治家に手紙を書くことで、このムーブメントに参加してください。核兵器の非人道性と違法性について声をあげ、核兵器に投資しないよう銀行に要求しようではありませんか。一つ一つの小さな行動が、大きな目標を達成するためには重要なのです。皆さん、どこからでもスタートできます。次はあなたの番です。

ベアトリス・フィン

ICAN 事務局長

2021年1月22日、多くの人々の署名活動により、「核兵器禁止条約」が発令されました。

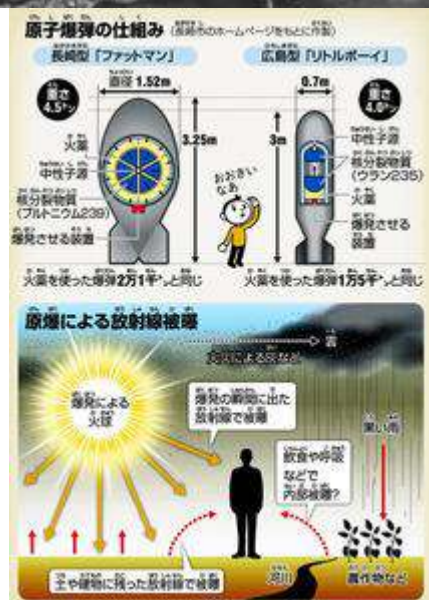
日本は原爆を広島、長崎に落とされ、広島で約14万人、長崎で約7万6千人余の命が一瞬に奪われたにも関わらず、批准しませんでした。

子どもたちの未来に、私たち大人はどうこたえていきますか？どんな日本を残したいですか？
I CAN事務局長の平和メッセージにあるように、どこからでもスタート出来ると思いませんか。
私が、あなたが、自分たちに出来る事を考える一日になりますように。



原爆のこと知っていますか 深く学ぶためのQ&A (朝日新聞デジタルより)

拡大 1945年8月6日、広島に原爆投下直後、上空に上がるキノコ雲。手前は瀬戸内海＝米軍撮影
原子爆弾の仕組み(朝日新聞教育特集「知る原爆」から)



原爆が落とされるまで	
1938年	12月 原爆の爆発のエネルギーになるウラン核分裂をドイツが見る
1939年	8月 学者らがアメリカに原爆開発を提案 9月1日 第2次世界大戦が始まる
1941年	1〜3月 原爆の爆発のエネルギーになる プルトニウムをアメリカが見る 12月8日 日本軍がハワイの真珠湾を攻撃、アメリカに戦争をしかける
1944年	9月 アメリカとイギリスが、原爆を開発して開発しつづけること。 「日本人に対して」使うことなどを話し合う
1945年	4月27日 アメリカで原爆を開発する場所について話し合う会議が開かれる。 7カ所が候補に(東京湾、川崎、横浜、名古屋、大阪、神戸、京都、広島、 長崎、小倉、下関、山口、熊本、福岡、長崎、佐世保) 5月8日 ドイツが、アメリカ・イギリスなどの連合軍に無条件降伏 7月16日 アメリカで最初の原爆実験(プルトニウム型)成功 25日 原爆を開発する目的、「(8月3日よりあとに)広島、小倉、(新たに候補地に 加えた)新潟、長崎のいずれかを目標」 26日 アメリカ、イギリス、中国が日本に 「無条件降伏」を求めるが、日本は 応えなかった 8月6日 広島に原爆が落とされる 9日 長崎に原爆が落とされる 15日 昭和天皇がラジオ放送で国民に降伏を知らせる

1945年8月、日本に投下された二つの原爆。その年末までに、広島で14万人、長崎で7万人以上が亡くなったといわれます。なぜ広島と長崎に落とされたのか、街や人びとはどうなったのか。原爆のこと、知っていますか。

(朝日新聞が発行する小学生向け教育特集「知る原爆」のQ & Aです)

Q. 原爆って、どういうものだったの？

A. 原子爆弾といって、それまでに戦争で使われたものより、はるかに強い力の爆弾だったんだ。原爆や水素爆弾(水爆)は原子核反応というエネルギーを使っているのだから「核兵器」と言うんだよ。世界で初めて核兵器が使われたのは1945年8月6日。アメリカが広島に落とした原爆で、3日後の8月9日には長崎にも落としたんだ。

Q. どうして、日本に落とされたの？

A. 日本はアメリカなどと戦争をしていたんだ。アメリカは原爆の力を見せつけ、早く戦争を終わらせるために落としたとの見方があるんだ。もし、日本が早く降伏してい

れば、原爆投下は避けられたかもしれない。一方で、すでに日本のまわりの海や空はアメリカが支配し、沖縄も占領されていたから、日本が負けることは決定的な状況だった。広島は「ウラン235」、長崎は「プルトニウム239」という物質が使われた。アメリカが2種類の爆弾を試したかったともいわれている。

Q. なぜ、広島と長崎だったの？

A. 広島は東京や大阪と違って大きな空襲を受けていなかった。新しい爆弾の威力を試す場所の候補になったんだ。日本軍の拠点や兵器を作る工場もあった。また、アメリカは長崎ではなく、福岡県小倉市（現・北九州市）に原爆を落とす予定だった。小倉の上空にもやがかかっていたなどとして、第2候補地の長崎に落としたとされているよ。

Q. 原爆で、人や街はどうなったの？

A. 被害は熱線、爆風、放射線の三つ。爆発で数十万～数百万度の火の玉ができ、熱線で爆心地付近の温度は3千～4千度にもなった。爆心地近くでは、熱線を浴びた人のほとんどがその瞬間か数日のうちに死亡し、爆風で建物が倒壊したり吹き飛ばされたりした。壊れた家が燃え、逃げ出せずに焼け死んだ人や、割れたガラスが体に突き刺さった人もいっぱいいたよ。

Q. 放射線の被害は？

A. 原爆の一番の特徴が、目に見えないまま長い時間続く放射線の被害。けががないように見えた人や、爆心地付近に入って知り合いを捜したり、けが人を手当てしたりした人たちも放射線の被害にあったんだ。

Q. 放射線で、どんな病気になるの？

A. 広島と長崎の原爆では、歯茎から血が出たり、髪の毛が抜けたりする「急性症状」が出た。その後、がんなどで亡くなる人が多くなったんだ。甲状腺機能低下や白内障、心筋梗塞（こうそく）になった人も多いよ。

Q. どれだけの人が被害を受けたの？

A. 原爆が落とされた年の年末までに、広島では約14万人、長崎では7万4千人近くが亡くなったといわれている。子どもや女性、お年寄りも亡くなった。その後も放射線の影響でたくさんの人が死亡し、いまも不安を抱えている人が多い。被爆した人には、被爆者健康手帳が交付され、医療費の自己負担分が免除される。現在、約20万人が手帳を持っている。原爆によって発症した病気のことを「原爆症」と言うんだよ。

<子ども議会と「ぞう列車」がはしるまで>

1949年（昭和24年）

4月2日 「上野動物園にぞうを！」をスローガンに子どもたちは大挙して

都庁へデモに行く。上野で花まつりが開催され、子どもたちは、大

きな白いゾウの張り子（紙の模型）を作り、上の松坂屋から上の動

物園までなり歩いた後の出来事。

4月19日 「どちらか一頭、象を知らない東京の子どもたちに貸してくださ

い」という、台東区の全小画工の子ども会から陳情書が、塚本・名

古屋市長と北王・東山動物園長のもとに届けられる。

4月21日 妹にゾウを見せたいという近藤晃一くん（小学校3年生）の手紙

が、この日新聞にのり「ゾウよこせ」の運動が広がる。

5月1日 台東区子ども議会・台東区役所で緊急総会を開催。「象借り入れ促進

決議」を採択し、代表2名を名古屋に派遣することを決める。代表

は議長の大畑敏樹くん（上野中学1年生）と副議長の厚田尚子さん

（第2師範付属中1年）。

5月5日 台東区子ども議会の代表2名が、名古屋市子ども議会臨時総会に主

出席しし、象かかしてほしいと訴える。同日、松下孝次名古屋議会

議長・北王東山動物園園長に象貸し出しを陳情。

5月6日 代表2名、塚本名古屋市長に陳情。同日、名古屋市役所で市、鉄道動物園関係者で協議

し、「象さん列車」を走らせることを決定する。

5月10日 台東区子ども議会の代表2名（大畑／厚田）が、「象輸送の請願書」を参議院議長へ

提出する。

5月14日 参院厚生委員会に、台東区子ども議会、各区子ども議会からの代表18名が出席し、
請願書の趣旨を訴える。

6月18日 第1陣として彦根市内の8小学校の5、6年生（1400名）が
滋賀（1700名）が「ぞう列車」で名古屋の東山動物園を訪ねる。

6月26日東京の子どもたち約1400名が、夜行の「ぞう列車」（エレファント号で名古屋東山
動物園を訪れる。

7月には 三重から1000名。彦根から第2陣が1000名。8月には大阪450名、京都16
00名、滋賀1700名の子どもたちが訪れている。その後も埼玉、神奈川、石川、福
井等各地から次々と「ぞう列車」は名古屋に向かった。

参加者は延べ一万数千人に及ぶと言われています。

資料：ぞう列車がやってきた 著者 小出隆司 発行所 岩崎書店

子ども議会って？

上野に象を連れてきた、戦後民主主義の「子ども議会」



2018 年に NPO 法人わかもののまちと早稲田大学卯月盛夫研究室が共同で実施した「**子ども議会・若者議会 全国自治体一斉調査**」によれば、全国の 6 割以上の自治体が「子ども議会」もしくは「若者議会」に「取り組んでいる」「取り組んでいた」と回答しています。

また、事業の開始年について尋ねた項目では、下図の通り、2015 年以降に取り組みをはじめた事業が多く、2016 年には 80 以上の事業が新しく始められています（単年度事業を含む）。「**子ども議会・若者議会**」事業の開始年

こうした近年の動向を見ていると、「子ども議会・若者議会」は最近になって取り組み始められたもののように感じます。

しかし、歴史を振り返れば、我が国の「子ども議会」の歴史は、戦後にまで遡っています。

戦後すぐに新しい民主主義教育の学習活動として、子どもが身近な問題を自らの力で解決するための「**子ども議会**」が設置されていました。

東京の台東区には、昭和 23 年から 25 年までの間、小学 5,6 年生で構成される子ども議会とともに、中学生で構成される少年議会も存在していました。

戦争中の日本は、動物園の猛獣類に脱走の恐れがあることから、軍の命令でライオンや虎などの動物は処分されていました。こうした背景から、戦後の上野動物園（台東区）にはライオンも象もおらず、子どもたちにとってはつまらない動物園でした。

そこで、昭和 24 年 5 月 1 日に開会された台東区子ども議会は「**上野動物園に象がほしい。名古屋から本物の象を借りてこよう。**」と決議しました。

当時、戦後の日本に残っていた象は 2 頭で、どちらも名古屋の東山動物園にいました。「**2 頭もいるのだから、1 頭は上野動物園で借りても良いだろう**」と子ども議会は考えたのです。

この決議は下記のような新聞投書が発端となっています。

「この“象借入れ問題”の発端というのは、昭和二十四年三月六日の『東京日日・毎日小学生新聞』に小学校三年生の近藤晃一君という子の手紙が掲載されていることから始まっています。“ぼくのいもうとは、ぞうをしりません。なんとかして買ってください”と十円の為替を入れた手紙を上野動物園の古賀園長に送ったことが報道されたからです」

（「動物園に象がいなかった日」厚田尚子『婦人公論』1981 年）

この議決をもとに、台東区子ども議会の代表者 2 名が名古屋まで向かい、直接交渉することになり、昭和 24 年 5 月 5 日に開催された名古屋市子ども議会で象がほしいと訴えをしました。

名古屋市子ども議会のメンバーとの活発な意見交換が行われ、「**同情はするが、東京の友達だけに貸すわけにいかない。だからといって、名古屋だけで独占するのもよくない。**」と意見はまとまりませんでした。

この後、代表者 2 名は、実際に象がいる東山動物園を訪れるほか、当時の名古屋市長の塚本市長に陳情をしました。しかし、もともと 2 頭は一緒に生活をしているため、1 頭だけを引き離すというのは困難で、象も高齢でそもそもの輸送自体も難しい現状がありました。

そこで、塚本市長は代案として、名古屋と全国をつなぐ象列車を運行し、名古屋に象を見に来てはどうかと提案し、同年 6 月 18 日から、国鉄名古屋鉄道管理局の協力による象列車が運行をスタートしました。

象列車を実現させた台東区子ども議会でしたが、子どもたちは上野動物園で象が見たいのであって、象列車という代案では満足できずにいました。

そこで、子どもたちは引き続き「**上野に象を**」の運動を続けました。

名古屋から戻った代表 2 人は、宿谷衆議院議員の紹介で、松平参議院議長あてに請願書を出すことになりました。

請願書には、「**マッカーサー元帥を動かして、象をはじめ珍しい動物を輸入してほしい**」ことが書いてありました。

なお、これが子どもたちによる国内初の請願でした。当時の様子を台東区子ども議会の副議長だった厚田尚子は以下のように述べています。

「“国会初めての子供の請願”ということで、宿谷議員は法律的に受理して有効かどうか、当惑されたと聞きます。しかし、松平参議院議長は、たとえ子供にしろ、基本的人権は大人となんら変わらない、請願はきちんと受け取るべきだと、正式に受理されたわけです」
(前出同、厚田尚子)

この請願は、1949 年 5 月 11 日の参議院運営委員会の議題として取り上げられました。

参事(寺光忠君) 昨日宿谷さんの紹介で象等の輸入に関する請願というのが出て参りました。これは御承知の台東区の子供議会で、議長その他代表者が二名名古屋まで参りまして、象を送つて呉れというようなことを申し出ましたけれども、ゾウにもならなかつたので(笑声)、議会の力で何とか手に入れるようにして貰いたいということをやつて來ておるのであります。まあ子供のことでありますので、締切になりましたけれども、この一件だけ受理して、本会期末に審議を終るようにして頂きたい、こういう熱烈な希望がございまして、運営委員会でお認め願えれば、その通り取計したいと思います。

(参議院運営委員会 議事録, 1949 年)

この時期になると「**上野に象を**」運動は、台東区だけでなく、都内の小・中学生を広く巻き込み、都庁にプラカードを立てて押しかけることや、都知事への陳情など、積極的な運動を繰り返していました。

この運動が広くメディアなどに取り上げられていたこともあり、社会の大きな注目を浴びていました。

ここでひとつの転機が起こります。

この運動の存在を知った、インドの貿易商の二ヨギ氏が、インドから象を贈ることができないかと考えたのです。そこで二ヨギ氏は、当時のインドのネール首相宛に東京の子どもたちからのお願いの手紙を送ることを提案しました。

早速、都内の小・中学生が手紙をたくさん書き始め、最終的には 1500 点もの手紙が集まりました。集められた手紙は、二ヨギ氏が中継ぎ役となってネール首相に手渡されました。

そして、日本の子どもたちからの手紙を見たネール首相は、胸を打たれ、

「**そんなに象がほしいのだったら**」と日本に象を送ることを決定しました。

その後、昭和 24 年 10 月 1 日に象の受領式が上野動物園で行われ、象は「**インディラ**」と名付けられました。象の贈呈式には、当時の森首相も出席しました。

戦後の台東区子ども議会の事例は、非常に示唆的かつ刺激的なものです。

子どもたちの「**象が見たい**」の純粋なつぶやきから、国会やインドのネール首相をも動かした、現実のものとなりました。

※この文章は、筆者の修士論文「子ども・若者のまちづくり参加に関する研究ー「子ども議会・若者議会」全国自治体一斉調査を通じてー」の一部を元としています。

※また、象のインディラについての記述のほとんどは、台東区史(2002)を参考文献にしています。

参考：コミュニティーの実験室より
土肥 潤也氏